

2007年9月20日

## いすゞ「環境・社会報告書 2007」を発行

いすゞ自動車株式会社（社長：細井行、以下いすゞ）は、「運ぶを支え、信頼されるパートナーとして、豊かな暮らし創りに貢献します。」を企業理念に、商用車とディーゼルエンジンのプロフェッショナルとして、ハード・ソフトの両ビジネスで、社会および環境との調和を図りながら事業活動を推進しています。

今回 9 回目の発行となる「環境・社会報告書 2007」では、いすゞが、2006 年度の事業活動で行った環境保全活動の成果と社会への貢献を、写真、イラスト、図版などを用いながらわかりやすくまとめました。

『環境・社会報告書 2007』の主な内容・ポイントは次の通りです。

### 【ハイライト】

- 新型エルフ/フォワード開発ドキュメント：2006 年度に実施した主力車型のフルモデルチェンジについて、その誕生までの過程を、開発および生産に携わった従業員のコメントで紹介しています。
- ステークホルダーミーティング：「地球温暖化防止に向けての期待」と「社会とどのように向き合っていくべきか」をテーマに環境分野を中心に活躍されている方々のご意見を伺いました。

### 【環境/環境マネジメント】

- 連結環境マネジメントへの取り組み：生産部門の環境取り組み活動として、国内グループ 8 社、海外グループ 6 社の環境連結活動を紹介しました。また、国内販売会社の環境への取り組み活動も紹介しています。

### 【環境/製品づくり】

- 環境に配慮した製品づくりでは、開発理念である「信頼の追及」、開発のベースコンセプト「See テクノロジー」のもと、環境負荷の低減と安全性・経済性を両立させた製品づくりを紹介しています。

### 【環境/工場づくり】

- 環境に調和した工場、地域に開かれた工場づくりのために、「地球温暖化防止、CO<sub>2</sub> 削減」、「循環型社会の形成、廃棄物の削減」、「汚染のない社会、環境負荷物質の削減」、「環境マネジメントの活性化、環境法令遵守」の 4 つの重点課題に取り組んでいます。

なお、本報告書は9月20日より、当社ホームページでもご覧いただけます。

▶ 環境・社会報告書

( <https://www.isuzu.co.jp/company/csr/report/backnumber/index.html> )

この件に関するお問合せ及び資料請求は、プログラムマネジメント部 環境推進グループ  
(TEL : 03-5471-1394)までお願い致します。